

1. すべてのカードを2つのグループに分けます。

26枚の絵カード

26枚の文字カード

その2つのカードのグループの中から

1つ使いたいグループを選びます。

2. 選んだカードのグループから

それぞれのプレイヤーは好きな4枚を選んで、
テーブルに自分の前にその4枚を上向きに置きます。

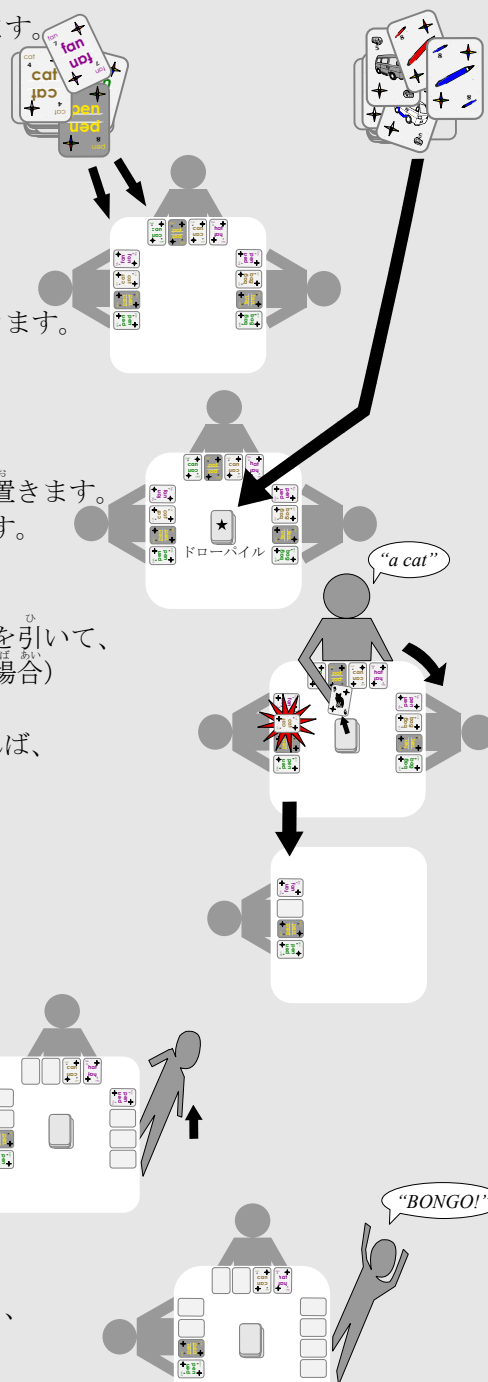
3. まだ使われていないもう1つのグループを
シャッフルして、テーブルの中心に下向きに置きます。
これはドローパイル（引き札の山）になります。

4. 1人のプレイヤーはドローパイルから1枚を引いて、
引いたカードの単語を言います（絵カードの場合）
または読みます（文字カードの場合）。
もしそのカードがプレイヤーの4枚の中にあると、
そのプレイヤーが言われたカードを
下向きにひっくり返します。

5. 先のプレイヤーの左側の人（時計回り）
は同じように次のカードを引いて、
そのカードの単語を言います。

6. 1枚のカードしか残らない時は
そのプレイヤーが立ちます。

7. すべての4枚のカードがひっくり返したら、
その人は “ボンゴ” と言って、勝ちです。



I Don't Think So - 13才以上, 2-7 players

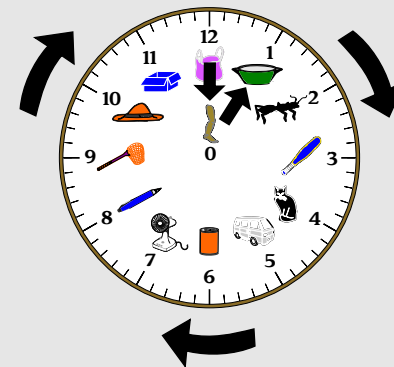
1. ディーラー（カードを配る人）はすべてのカードを
できるだけ平等に配ります。

$54 \div (4人) = 13 \text{ または } 14 \text{ 枚}$

2. ディーラーの左側の人（時計回り）は
最初にプレイします。

そのプレイヤーが持っている
足のカード（0）をテーブル
の中心に下向きに置きます。
テーブルに置く時に
そのカードの物とその物
の数を言います。

3. 次のプレイヤー（時計回り）が持っている
鍋のカード（1）をテーブルの中心に前の
プレイヤーが置いたカードの上に、
下向きに置きます。そのカードの物と数
を言う。その後、次のプレイヤーが
蟻のカード（2）を置きます、同じの
ように靴のカード（1 2）まで続きます。
そして靴のカード（1 2）からまた足のカード
（0）に戻ってこのようにゲームが続きます。



もしあるプレイヤーが必要なカードが持ってなければ、少なくとも他のカード
の1枚を置かないといけません。そのカードを置く時に実際のカードの物じゃなくて、
その番のカードの物を言います。残りのプレイヤー達がそれは史実なのか、
嘘なのかを検討します。ポーカーフェイスは役に立ちます。